

遊文通信

今回の遊文通信は…

- 全部署の力の結集で
「ジャグラ作品展」受賞

全部署の力の結集で「ジャグラ作品展」受賞

この度、「ジャグラ作品展」に弊社から出展した大阪大学産業科学研究所様の刊行物「SANKEN ANNUAL REPORT 2023」が、業務用印刷部門において作品展審査会委員長賞を受賞しました。

「ジャグラ」は一般社団法人日本グラフィックサービス工業会のことで、技術力向上やマーケットへのアピールを目的とし、1966年より毎年作品展のコンクールを開催しています。今年は4部門合計640点の応募があったそうですが、その中から1次、2次、最終審査を通過し、見事受賞にいたりしました。

今回出展した作品は、目を引く特色蛍光ピンクを表紙に大胆に使用し、さらに弊社の得意としているオンデマンド印刷機のメタリックトナーを組み合わせたデザインが特徴となっています。

蛍光ピンクをオフセット機で印刷した後に、オン

デマンド機にもう一度通してメタリック+4色カラーを印刷しています。オフセット機を通した後にオンデマンド機を通すには様々なリスクもあり、印刷現場でかなり細かい調整が必要でした。また、中面には前号、前々号の『遊文通信』でご紹介させていただきました弊社のカメラマンが撮影した写真も多数掲載しており、全部署の力が結集した印刷物でした。そんな作品がこのような賞をいただけたこと、とても光栄に思います。

そして、先日6月22日（土）にリーガロイヤルホテル広島で表彰式を兼ねた「第66回ジャグラ文化典式典」が開催され、遊文舎関係者一同で参加してきました。

式典にはお客様である大阪大学産業科学研究所広報室の方も駆けつけてくださいました。他の色んな



デザインを担当した制作課の下山



左から担当営業の河野、大阪大学産業科学研究所広報室の緒方様、下山





賞の作品も一同に展示してあって、とても刺激的な式典でした。今回受賞した賞よりまだまだ上の賞があるので、これに満足することなく日々精進していきたいと思います。

今回出展させていただいた印刷物は、賞をいただく前から他のお客様からの評判も大変良く、これをきっかけにお仕事をいただいたこともありました。弊社ではディレクション・撮影・デザイン・印刷・加工・製本までトータルでご提案させていただくので、「いつも作っているパンフレットや報告書よりはこだわりたい」というお客様は是非ご相談ください。

(営業部マネージャー 河野 行俊)



旅のエピソード



広島には前日の金曜日から入ったのですが、大阪で通常通り勤務し夜に移動しました。新幹線から降り立って真っ先に向かったのは、お客様から教えていただいた「ビールスタンド重富」です。ここはオーナーの祖父の時代（昭和初期）のビールサーバーを復刻し、こだわりの注ぎ方で生ビールの旨さを届ける専門店です。色んな注ぎ方のビールが楽しめます。私が飲んだのは「シャープつぎ」というもので、泡が最高に美味しかったです。皆様も広島に行った際には是非一度ご賞味ください (<http://sake.jp/>)。

次の日も式典まで少し時間があつたので、広島市内を観光しました。と言っても当日は土砂降りの雨で、雨宿りも兼ねて屋内施設「広島市こども文化科学館」に入ったのですが、その売店で何と数年前に大阪大学出版会様からご依頼いただき、弊社で制作・印刷した絵本『ねえねえはかせ、月のうさぎは何さいなの?』を見つけました。この本はイラストが重要な語りの部分を担い、弊社のイラストレーターが著者の先生と何度もすり合わせを行った思い出に残る作品で、式典の前に思わぬ嬉しいサプライズでした。

編集後記

梅雨のジメジメした季節が続いており、暑さも日に日に酷くなってまいります。そんな中、先日営業部のフロアの空調が不調で効かなくなりました……。すぐに業者様に来ていただき、直してもらえましたが、改めてクーラーの大事さを実感しました。

さて、今回は「ジャグラ作品展」受賞についてでございます。遊文舎にはこだわりを持って日々取り組んでいるデザイナーが多数在籍しております。何かございましたら営業担当の方に是非お声掛けくださいませ。 (営業 原田)

今月の紙

Aプラン ピュアホワイト
菊判 71.5kg